

重点目標

深く考え、  
進んで伝え合う子

思いやりの心もち、  
よさを認め合う子

健康に目を向け、  
励まし合って運動する子

努力事項

知育

自分を見つめ、考えをしっかりと発信することができる子どもの育成

◆主体的・対話的な学びを育む授業を目指して

- ①見通しと振り返りのある学習展開
- ②指導と評価の一体化
- ◇ふるさを見つめる「阿賀学」を推進する。

徳育

自分も友だちも大切に考えることができ、温かい集団づくりができる子どもの育成

◆協働する力を育む縦割り班活動の充実を目指して

- ①思いやりと自己肯定感を高める活動
- ②いじめ・不登校の未然防止と解消
- ◇地域や家庭と連携した挨拶推進の取組を継続する。

体育

自分の体を大切に考えることができ、さらにたくましく健康な体をつくるために励まし合って努力することができる子どもの育成

◆体力の向上と生活習慣の定着を目指して

- ①粘り強く取り組むための目標設定
- ②家庭との連携による生活習慣づくり
- ◇運動の楽しさを体感させる運動環境を整備する。

教育活動全体を通じたウェルビーイングの向上

教職員の指導力向上

- ◇新学習指導要領や学校課題に対応した校内研修
  - ・授業改善 ・生徒指導 ・特別支援 ・ICT ・地域連携
- ◇個々の学力分析と個人差に応じた学習指導
- ◇人権教育、同和教育研修

ふるさと教育

- ◇阿賀町の自然・歴史・文化を素材にした活動の展開
- ◇地域を愛する心の育成と地域への発信
- ◇地域との関係機関との連携推進

保・小・中の連携 関係機関との連携

- ◇知・徳・体育の三育における課題の共有と解決に向けた取組の推進
- ◇保・小・中連携強化による阿賀町15年教育の実現(連絡会、相互の参観等)

特別支援教育

- ◇全職員の共通理解と個に応じた適切な支援
- ◇通常学級と連携した日課表の作成と支援体制の工夫
- ◇担任同士の連携と役割の明確化
- ◇全校体制による保護者との連携

学校・家庭・地域で育てる津小っ子

- ◇地域の教育力を生かした教育活動
- ◇積極的な情報発信と受信
- ◇学校評価への参画(保護者アンケート、学校運営協議会)
- ◇交通安全や校地校舎の環境整備への協力体制
- ◇連携強化によるコミュニティスクールの推進

学校経営への事務職員の参画

- ◇教材教具の購入や施設設備の整備
- ◇学級事務の精選・データ化
- ◇予算の執行や文書管理における連携



友達との説明活動



いじめ見逃しゼロ集会



町めぐりウォーク



地域との連携

【2024新潟県学校教育の重点】

ふるさとへの愛と誇りを胸に、夢や希望を持って粘り強く挑戦し、未来を切り拓いていける、たくましいひとづくり

- 児童生徒が主役の授業づくりの推進と確かな学力の育成
  - ・「学ぶ楽しさ」「分かる喜び」を実感できる授業に向けて→課題の明確化や指導方法・教材の工夫
  - ・自己の考えを広げ深める学びの実現に向けて→学習形態の工夫やにいがた学びチャレンジの活用
  - ・学び(個別最適な学びと協働的な学び)の充実に向けて→1人1端末・クラウド環境・デジタル教科書の日常的な活用
- いじめをしない、許さない、命を大切にする意識の醸成
  - ・思いやりをもち、自己や他者、社会にとってよりよい判断ができるよう→「考え、議論する道徳」の推進
  - ・他者理解を深め、人間関係をよりよく形成することができるよう→話し合いの重視と児童主体の活動の推進
  - ・差別を許さず、自他を大切に行動できるよう→同和教育を中核にした人権教育の推進

【2022～2024阿賀町学校教育の重点】

目指す子ども像  
ふるさとを愛し、夢をもち、意欲的に学び、自ら未来を切り拓く子

- ・阿賀町の15年教育: 保育園～高等学校の連携
- 『好奇心』→『学ぶ楽しさ』→『学ぶ意義』→『未来を築く学び』へと、発達段階に応じた学びを展開し、将来に生きて働く力を育成
- ・家庭の取組: 子どもの自律・自立を支援
- ・地域の取組: 地域ぐるみで子どもを支援